

第15回通常総会 議事録

2018（平成30）年6月5日
特定非営利活動法人（NPO）
日本知的財産翻訳協会（NIPTA）

1.日時 2018（平成30）年6月5日 14:30-15:30

2.場所 東海大学校友会館 東海の間

東京都千代田区霞が関3-2-5 霞ヶ関ビル35階

3. 議題

(1) 審議事項

第1号議案 2017（平成29）年度事業報告について

第2号議案 2017（平成29）年度会計収支決算及び監査報告について

第3号議案 2018（平成30）年度事業計画について

第4号議案 2018（平成30）年度会計収支予算について

第5号議案 役員の選任について

4. 出席者

現在数 会員総数122名

出席者数 理事9名（書面による表決参加：7名）

監事2名

会員7名（書面による表決参加：53名）

5. 議事経過

(1) 開会

定刻になり浜口常務理事が第15回通常総会の開会を宣言した。

(2) 理事長挨拶

奥山理事長より各理事、監事、会員へご出席の謝辞が述べられた。当協会の基本事業である検定試験は順調に実施できており、今後も各理事、監事、会員のご協力のもと時流に乗って活動を活性化していきたいと考えている旨の意見が述べられた。

(3) 議長選出

定款第26条に従い、議長の選任について諮ったところ「司会一任」の声があり、司会より奥山理事長を指名し、全員異議なくこれを承認した。

(4) 議事録署名人の選出

議長は議事に先立ち、議事録署名人2名の選出について諮ったところ、「議長一任」の発言があり、議長は尾上会員と東会員の両氏を議事録署名人として指名した。

(5) 総会成立確認

浜口常務理事より第15回通常総会開催日の前日6月4日時点で、出席者17名、委任状による出席者数60名、計77名で、正会員数122名の過半数61名を超えており、定款27条により本総会は成立しているとの報告が行われた。

(6) 審議事項

- | | |
|-------|------------------------------|
| 第1号議案 | 2017（平成29）年度事業報告について |
| 第2号議案 | 2017（平成29）年度会計収支決算及び監査報告について |
| 第3号議案 | 2018（平成30）年度事業計画について |
| 第4号議案 | 2018（平成30）年度会計収支予算について |
| 第5号議案 | 役員の選任について |

(7) 議事の概要および議決の結果

(7)－1 第1号議案および第2号議案について、配布資料をもとに浜口常務理事より説明が行われた。

- ・ 第1号議案 2017（平成29）年度事業報告について
 - ①第24回知的財産翻訳検定＜第13回和文英訳＞試験について
 - ②第25回知的財産翻訳検定＜第12回英文和訳＞＜第1回中文和訳＞＜第1回独文和訳＞試験について
 - ③NIPTA特許機械翻訳研究会の活動について
翻訳エンジンの品評会を行うのではなく機械翻訳の使い方について研究しており、今年10月に開催されるJTF翻訳祭にて研究成果を発表する予定である旨の説明があった。
 - ④セミナー開催状況について
 - ⑤過去問題集の販売数について
 - ⑥会員現況について
 - ⑦翻訳ISOへの取り組みについて
- ・ 第2号議案 2017（平成29）年度会計収支決算及び監査報告について
平成29年度（平成29年4月1日から平成30年3月31日まで）の会計決算について浜口常務理事より活動計算書および貸借対照表等をもとに説明が行われた。引き続き、出席監事を代表して平沼監事による監査報告が行われた。

○採択

第1号議案および第2号議案について議長から質問・意見を求め、その後採択を行い全員一致の賛成で承認された。

(7)－2 次いで、第3号議案および第4号議案について、配布資料をもとに浜口常務理事より説明が行われた。

- ・ 第3号議案 2018（平成30）年度事業計画について
 - ①4月に実施された第26回知的財産翻訳検定についての報告
 - ②第27回知的財産翻訳検定試験＜第13回英文和訳＞＜第2回中文和訳＞

＜第2回独文和訳＞ 2018年秋（日）実施予定について

③一般社団法人日本翻訳連盟と特定非営利活動法人日本知的財産翻訳協会との翻訳検定試験共同運営について、ワークグループでの協議の経過報告がなされた。対外発表は8月以降で、今秋の検定試験より実施予定との説明があった。また本件については、8月の対外発表まで情報開示を控えていただくよう会員各位にお願いした。

④当協会理事と試験委員との意見交換会について

⑤知的財産翻訳の普及事業について

(1)～(4)に加えて、本年度の新しい取組みとして(5)英語版ウェブサイト作成について外国からの受験者を増やすためにも取り組んでいきたい旨、(7)クレジットカード決済システムの導入について会員や受験者の利便性向上に努めたい旨の説明がなされた。

⑥会勢拡大の取組みについて

知的財産翻訳検定試験1級合格者との交流会について、当協会へのご意見を伺うと共に当協会の活動を横に広げることを目的として開催したい旨の説明があった。

・ 第4号議案 2018（平成30）年度会計収支予算について

浜口常務理事より、配布資料を元に2018年度の予算案の報告が行われた。

○採択

第3号議案および第4号議案について議長から質問・意見を求めた。会員より今後の中文和訳試験、独文和訳試験の言語方向についての質疑があり、浜口常務理事より当面は和訳試験で様子を見て、和文中訳や和文独訳の需要があれば検討していく旨の回答を行った。中国語試験については中国での実施も模索している旨の言及があった。その後採択を行い、全員一致の賛成で承認された。

(7)－3 次いで、2018年度役員の選任について、配布資料をもとに浜口常務理事より説明がされた。

・ 第5号議案 役員選任について

浜口常務理事より、現理事本多敬子氏は平成30年4月1日付で推薦母体である日本弁理士会副会長を退任し、同会から後任理事として新たに同会副会長蔵田昌俊氏の推薦があったので、同氏を本多敬子氏の後任として理事に選任する旨の説明がなされた。

○採択

第5号議案について議長から質問・意見を求め、その後採択を行い全員一致で承認された。

6. 閉会

以上をもって通常総会の議事を終了したので、議長は議事進行協力への謝意表明とともに閉会を宣言した。

以上、本議事録が正確であることを証するため、議長および議事録署名人は次のとおり記名押印する。

2018年 月 日

特定非営利活動法人（NPO）日本知的財産翻訳協会

議長 奥山 尚一 印

議事録署名人 尾上 道雄 印

議事録署名人 東 郁男 印